

## 令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」 における森之宮小学校の結果の分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和7年4月から令和7年7月末までの期間に、5年生を対象として、「実技に関する調査」と「質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、体力等の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの体力向上をめざしています。

### 1 調査の目的（全国体力・運動能力、運動習慣等調査に関する実施要領より抜粋）

- (1) 子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各国公立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各国公立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

### 2 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第5学年、義務教育学校前期課程第5学年、特別支援学校小学部第5学年の原則として全児童
- ・森之宮小学校では、5年生 21名

### 3 調査内容

- ・児童に対する調査

ア 実技に関する調査（以下「実技調査」という。測定方法等は新体力テストと同様）

小学校調査では、以下の種目を実施する。

〔8種目〕 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

イ 質問調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問調査を実施する。

## 令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

## 学校の概要

森之宮小	学校	児童数	21
------	----	-----	----

## 平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	18.25	19.00	25.13	38.00	29.50	9.71	125.38	14.75	46.00
大阪市	15.76	19.17	33.01	38.63	47.52	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.42	150.93	21.76	53.02
女子	14.67	16.77	34.92	38.85	27.54	9.75	120.96	11.54	49.75
大阪市	15.40	18.33	37.58	38.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.38
全国	15.67	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

## 結果の概要

令和7年度の本校の体力合計点は男子を見ると、全国が53.02、大阪市は51.54、本校は46.00だった。女子は全国が53.97、大阪市は52.38、本校は49.75でどちらも全国、大阪市を下回っている。

児童アンケートの「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか。」では、「好き、やや好き」の男子の割合が全国93.4%、大阪市93.5%、本校は100%だった。また、女子は全国85.8%、大阪市85%、本校83.6%だった。「ふだんの1週間について聞きます。学校の体育の授業以外で、運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツを合計で1日およそどのくらいの時間していますか。」は全国、大阪市の平均時間より男子と女子共にかなり時間が短い。

## これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

体育科の授業では、どのクラスも運動量の確保を念頭に取り組んでいる。また毎年、なわとび週間、かけあし週間で体力づくりを行っている。各実技のデータやアンケートから分析すると次の手立てが必要だといえる。アンケート結果から、運動が好きな児童は男子、女子共に多いので体を動かし児童が意欲的にできるよう習慣作りを多く取り入れていきたい。結果から男子、女子共にはシャトルランや立ち幅跳びが低い。シャトルランは授業中に呼吸の仕方やビルドアップ走（ペースアップ走）をしたり、自分のペースで一定時間や一定距離を無理なく走ったりするようにしていく。立ち幅跳びは準備運動に、ジャンプしたり、体幹を鍛えるものを取り入れていく必要がある。運動の基礎となる「体づくり運動」の研修会を行い、各学年で取り組むようにしていく。また、家庭との連携も行い、家でできそうな体力づくりの基礎になるものを紹介していきたい。